

新刊

# ブ レ ー ン セ ン タ ー

発売日 2022年2月14日(月)

分類 映画・ドキュメンタリー・エッセイ・環境・人権

## 幻の小川紳介ノート

### 1990年トリノ映画祭訪問記と最後の小川プロダクション

小川紳介監督年譜 & 小川プロ全作品フィルモグラフィ付き

著者 小川紳介・小川洋子 編集 景山理

寄稿 山根貞男・蓮實重彦・上野昂志・伏屋博雄・安井喜雄・矢野和之

発行 シネ・ヌーヴォー 発売 ブレーンセンター



A5判・並製 / 256頁 / 2,000円+税

## ドキュメンタリー映画界の巨匠・小川紳介 30年前のトリノ映画祭訪問記が遺されていた!

1990年「トリノ映画祭訪問記」が、このたび31年ぶりに“発見”された。この訪問記全文に、小川監督の妻であり同志でもあった小川(旧姓・白石)洋子さんが『牧野物語・養蚕編』(77年)を中心に“喋り書き”した原稿を加え、小川監督とゆかりの深かった山根貞男・蓮實重彦・上野昂志・伏屋博雄・安井喜雄・矢野和之氏らの寄稿を得て、小川監督作品を上映してきた大阪のミニシアター「シネ・ヌーヴォー」代表の景山理が編んだのが本書である。

なお本書は、小川監督の命日である2月7日に発行される。

#### 小川 紳介 (おがわ・しんすけ)

映画監督。1936年6月東京生まれ。岩波映画製作所を経て、フリーで『青年の海』(66年)を初監督。続く『圧殺の森』(67年)の後、小川プロを設立して「三里塚」シリーズを連作し、激動の時代に「自主製作・自主上映」の方法で全国の学生・若者たちから圧倒的な支持を受ける。75年ごろより山形・牧野を本拠地とし、米作り、合宿生活をしながら映画を製作。82年の『ニッポン国古屋敷村』、86年の『1000年刻みの日時計』はドキュメンタリー映画の最高峰として揺るぎない評価を獲得。92年2月7日、わずか55歳で死去。山形国際ドキュメンタリー映画祭を発案するなど、今も影響を与え続けているドキュメンタリー映画界の巨匠である。

★ **ファックス**  
ご注文はお電話でも受け付けております。

# 06-6881-2630

電話 ◆ 06-6355-3300  
E-mail ◆ bookinfo@bcbook.com  
URL ◆ http://www.bcbook.com/

補充注文カード	◆ご担当者様名	著者 小川紳介・小川洋子 編集 景山理 価格 2,000円+税
	◆注文数	<b>幻の小川紳介ノート</b> 1990年トリノ映画祭訪問記と最後の小川プロダクション ISBN : 978-4-8339-0621-0